

農林水産大臣賞

部 門 農産・園芸

氏 名 まだ ゆういちろう
馬田 雄一郎

住 所 大山町宮内

[経営の概要と受賞理由]

○経営形態、経営体の性格

水稲、大豆栽培を中心とした経営（家族経営）

○経営基盤

- ・ 労働力 経営主、妻、長男
- ・ 経営規模 田 1, 6 2 3 a（うち水稲 1, 1 5 7 a、大豆 4 6 6 a）、畑 7 a
- ・ 生産品目 水稲、大豆、野菜
生産品目 水稲、大豆、野菜

○生産技術等の特徴

- ・ ドローンによる乾田直播、農薬・肥料散布の実施、自動操舵トラクターの活用等で農業の効率化を進めている。
- ・ センシングドローンを活用した肥培管理をいち早く取り入れ、農薬散布量、施肥量の削減を達成。
- ・ 圃場管理システムを導入し、圃場ごとの収量や労働時間等を計測し、次作の参考データを収集し、活用している。

○経営管理、地域活動等

- ・ 長男が最先端技術を学び、昨年から経営に参画。先端技術の実践の場として圃場管理を任せ、後進育成に励んでいる。
- ・ 中間管理事業で地域の農地を集積し、効率よく農業に取り組んでいる。
- ・ 令和 5 年度以降、近隣地域 4ha の水田でイネカメムシ防除作業を受託している。今後も受託作業を拡大する見込み。

○農林水産大臣賞の受賞理由

- ・ 担い手不足が課題となっている中山間地域において、農地中間管理事業を活用した農地集積、ドローン等の先端スマート技術を活用した効率的かつ省力的な経営に取り組み、優秀な水田経営事例として他の模範となっている。
- ・ 後継者育成にも積極的に取り組み、長男を経営に参画させ、主体的な行動を促しており、継続的に集落を守っていけるよう努めている。